

平成9年7月1日

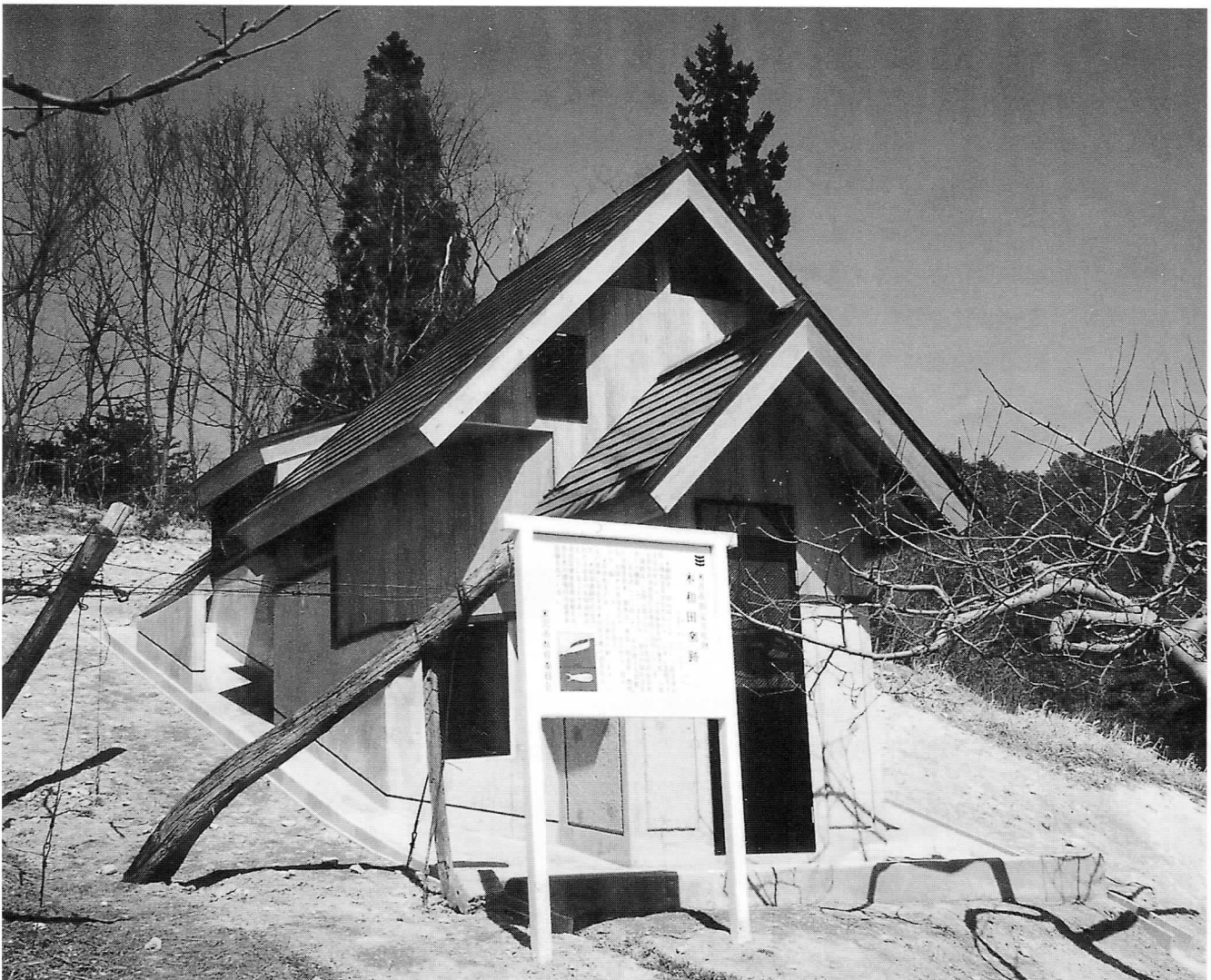


# 米沢市文化財年報

No.10

文化財愛護シンボルマーク

米沢市教育委員会



史跡 木和田窯跡（平成7年3月1日市指定）

覆屋新築 平成8年度

# 平成8年度 米沢市指定文化財の指定

米沢市文化財保護条例（昭和50年条例第16号）第25条第1項の規定により米沢市指定民俗文化財に指定

（平成9年3月28日）  
米沢市教委告示第6号

## 有形民俗文化財

### 塩地平の草木塔

所在地 大字入田沢字塩地平

形状 高さ 90cm 幅 52cm 厚さ 24cm 材質 自然石（安山岩）

建立時期 安永9年（1780）7月19日

碑文 「安永九子口（梵字）草木供養塔 七月十九日」

物件概要 安永9年4月17日の夜、桐町、銅屋町、立町など千余戸を焼失する大火があり、その復興のため、当時の藩主、上杉鷹山公は、罹災者に家作料として金千両を与えるとともに、田沢地区の藩の御料林「御林」から大量の杉材の伐採を命じた。その伐採された樹木の供養のため、「御林」のあった塩地平に最初の「草木塔」が建立された。土砂崩れの難所であった大明神の草木塔とともに、年代的に最古のものと考えられる。

碑面中央部に「草木供養塔」とあるが、碑面はかなり磨滅し、全文を読み取るのが困難になってきている。昭和36年頃までは文字の欠落はなかったが、その後、一部が欠落した。「御林」植林記念に梵字に朱が入れられたと伝えられる。

### 小荒沢の草木塔

所在地 大字入田沢字小荒沢（白夫平）

形状 高さ 115cm 幅 93cm 厚さ 20cm 材質 自然石（安山岩）

建立時期 寛政9年（1797）8月13日

碑文 「寛政九丁巳年 一佛成道觀見法界」

「(梵字)草木供養塔 草木国土悉皆成佛」

「八月十三日 中通」

物件概要 碑文に、涅槃経の「一佛成道觀見法界 草木国土悉皆成佛」と刻まれており、草木塔の発生の由来がわかるものである。この思想は、神仏混合の宗教観と共に、山岳信仰と結びつき、湯殿山参り、飯豊山参り、さらに先達を務めた修験者、法印たちの山村指導層の影響が大きかったことをあらわしている。上杉鷹山公の政策と山村の庶民信仰とが結びついて「草木塔」が生まれてきたと考えられる。

碑の前面は磨かれ、丸味をもった石塔で、調和のとれた碑文をもつ風格のある草木塔である。碑文もあまり磨滅せず、読み取ることや拓本とりもでき、古い初期の型では完璧な草木塔である。

## 上屋敷の草木塔

- 所在地** 大字口田沢字上屋敷
- 形状** 高さ 101cm 幅 32cm 厚さ 31cm 材質 自然石 (安山岩)
- 建立時期** 寛政12年 (1800) 8月15日
- 碑文** 「寛政十二甲口 (梵字) 草木供養塔 八月十五日 導師瑞林寺」
- 物件概要** 碑文にある「瑞林寺」は、築沢の屋敷集落にある寺院で、草木塔の礼拝を担っていたが、戦時中に中断し、その後、その流儀を、東寺町にある観音寺の住職が引き継ぎ、現在も毎年、盆の時期に回向を続けている。
- この草木塔の周囲には、湯殿山や庚申塔など、数多くの石塔があり、また、近くには薬師堂が建っており、山村集落での民衆の信仰の場所であったと思われる。

## 大代原の草木塔

- 所在地** 大字築沢字大代原 (市立三沢東部小学校校地内)
- 形状** 高さ 105cm 幅 50cm 厚さ 45cm 材質 自然石 (安山岩)  
台座 高さ 20cm 幅 110cm 奥行 65cm
- 建立時期** 文政6年 (1823) 2月
- 碑文** (前面) 「文政六年二月 草木供養塔 三築沢村」  
(背面) 「情野信右衛門 加藤孫左衛門 佐々木治兵衛 遠藤六郎兵衛 鈴木佐左衛門 遠藤七郎 兵衛 鈴木新兵衛 遠藤源兵衛 加藤喜右衛門 土屋門三郎 鈴木甚五右衛門 鈴木金蔵 (右側面から) 寛永六年に鈴木権右衛門、情野忠右衛門、情野与兵衛の三人の働きにより「留山」が定められたことが記されている。
- 物件概要** この碑は草木塔建立の趣旨、草木供養の精神が銘記されている唯一のもので、当時の治山治水の重大さと草木に対する感謝や愛護の念がうかがえる。設置場所は小学校の校地内であり、教育的見地からも貴重なものと考えられる。
- 碑文の前面にある「三築沢」とは、東沢、西沢、中沢を指し、背面には、12名の世話人の氏名が記されている。

## 上中原の草木塔

- 所在地** 大字口田沢字上中原
- 形状** 高さ 158cm 幅 67cm 厚さ 50cm 材質 自然石 (安山岩)  
台座 高さ 60cm 幅 160cm 奥行 120cm
- 建立時期** 慶応元年 (1865) 7月20日
- 碑文** 「慶応元年七月廿日 草木塔 三田沢講中」
- 物件概要** 道路改修に伴い、補修移転を行ったが、樹齢数百年を経た老木の松の見事な枝振りを傘にした風格のある「草木塔」である。碑面中央部に「草木塔」と筆跡も鮮やかに大きく刻まれ、右上からくずし字で「慶応元年七月廿日」とあり、左下には「三田沢講中」の文字が刻まれている。三田沢とは、口田沢、神原、入田沢を指す。現在でも、5月20日前後の早朝に、紙漉及び上在家の講中により地元の田澤寺を導師として供養を行っており、関係者に「草木塔供養之御礼」を配るなど、信仰形態を今に伝えている。

（平成9年3月28日  
米沢市教委告示第7号）

## 天然記念物

### 塩井神社のエノキ

所在地 塩井町塩野字住吉下（塩井神社境内）

物件所有者 米沢市窪田町窪田623番地

宗教法人 塩井神社 責任役員 鶴巻 哲

物件概要 根周 8.70m 幹周 4.48m 樹高 29.0m

枝張（東西）29.3m（南北）26.3m

推定樹齢 200～220年

塩井神社の神木と思われるエノキである。エノキはそもそも内陸地方には自生がないので、たぶん他所から移植されたものと推察される。

山形県指定の天然記念物である「長町裏のエゾエノキ」は、県内第一の大木であるが、本エノキはこれと比較しても樹高や枝張では凌いでいる。（別表1参照）

樹齢は若いが樹種の珍しさと樹木自体の威容からすれば、県内でも有数のエノキと目される。

（別表 1）

	長町裏のエノキ	塩井神社のエノキ
根 周	9.53m	8.70m
幹 周	4.98m	4.48m
樹 高	13.2 m	29.0 m
根 張	E-W 21.0 m N-S 20.60m	E-W 29.30m N-S 26.30m

### 米沢市内の 指定文化財件数 （平成9年3月31日現在）

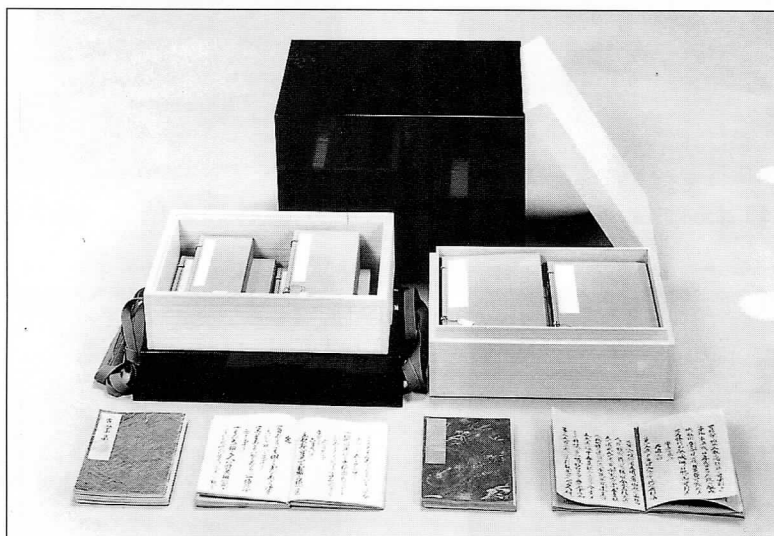
区 分	種 別	有 形 文 化 財								民俗文化財		記念物		合 計	
		建 造 物	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 籍	古 文 書	典 籍	考 古 資 料	歴 史 資 料	有 形	無 形	史 跡		天 然 記 念 物
国 指 定	（国 宝）		1												1
	（重要文化財）	1	3		11	2	2								19
	（史 跡）												2		2
県 指 定			2	6	16	1					1	2	3	31	
市 指 定				1	7	1		1	10	5	6		6	4	41
合 計		1	6	7	34	4	2	1	10	5	6	1	10	7	94

## 国指定重要文化財

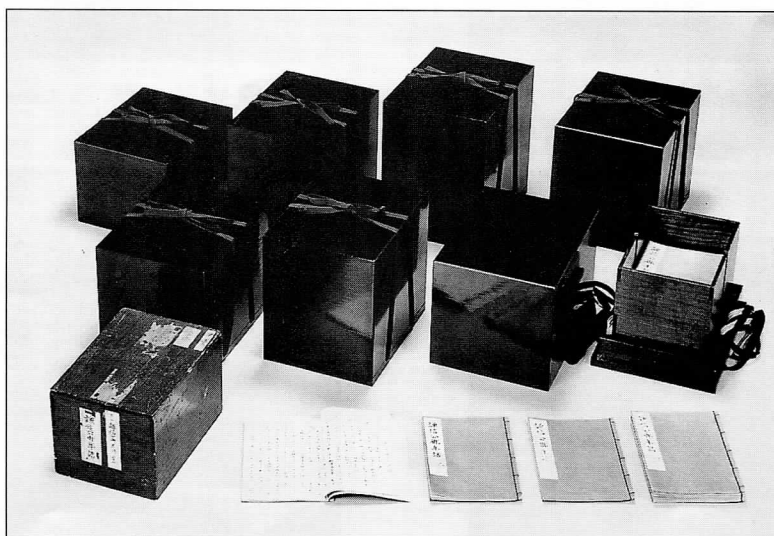
# 上杉家文書保存修理事業完了

重要文化財「上杉家文書」は、旧米沢藩上杉家に伝来した武家文書で、平成7～8年の2カ年にわたり、京都国立博物館文化財保存修理所にて修理事業を実施していたが、その修復が完了し無事米沢に里帰した。事業費は、国及び山形県からの補助金も合わせ総額1億6千6百万円で、修理事業の内容としては、個々の文書の形態に応じて、卷子、冊子、台紙貼、鋪、捲り等旧状のままに仕立てることを基本とした。また帙、保存箱の作成や旧箱に欠失、損傷のあるものについては、手当を施した。さらに、今後の研究及び保護保存を考慮し修理文書のマイクロ撮影本を作成し保存修理事業の完了をみた。

### 上杉家文書保存箱



黒塗掛硯箱

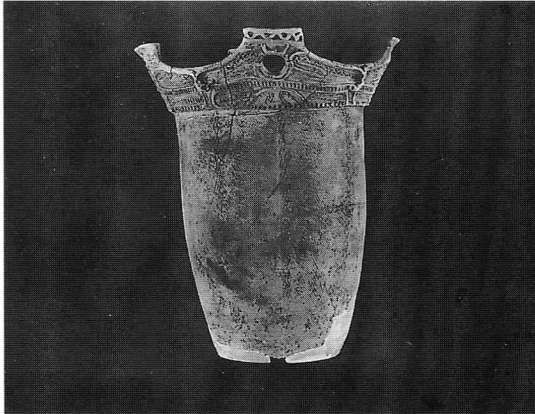


歴代年譜

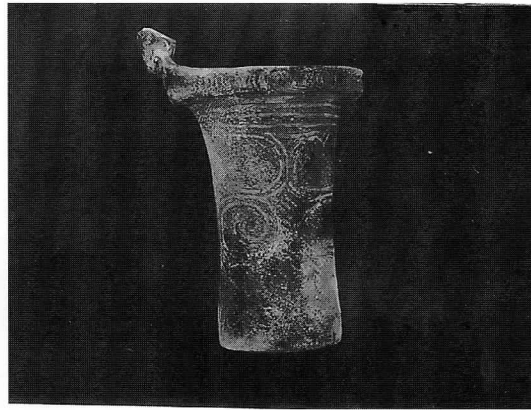
## 台ノ上遺跡

台ノ上遺跡は吾妻町地内に所在する縄文中期の大規模遺跡で、平成7年と同8年の2カ年をかけて畑地基盤整備に伴う発掘調査として実施したものである。約3,000㎡の調査範囲からは大型住居跡5棟を含む58棟の竪穴住居跡を始め、墓壙や土壙、埋設土器等の遺構が約500基と約1,500箱に相当する多量の遺物が検出されている。とりわけ、土器に関しては約300個分の完形土器が検出された。土器の大半は、縄文中期中葉期に属するもので、渦巻文を主体に「S」や「C」といった口縁部突起を施文したものが特徴である。

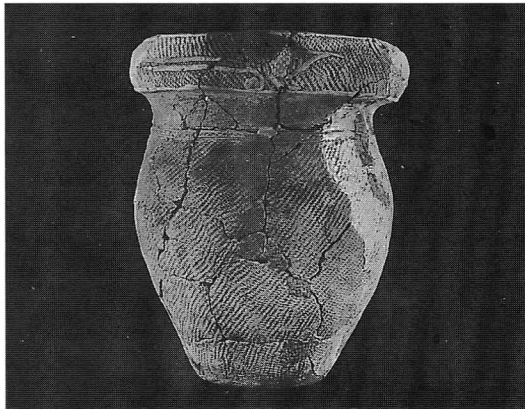
ここでは台ノ上遺跡から出土した代表的な土器を紹介しておきたい。



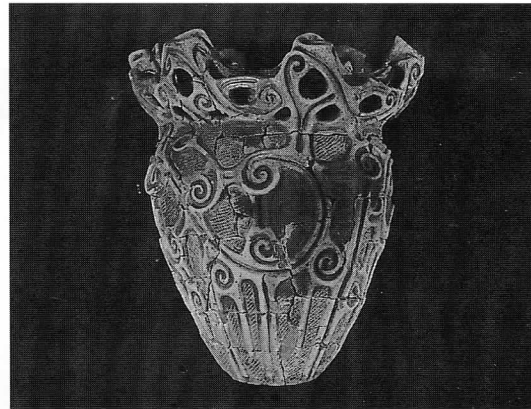
大型深鉢形土器 (大木7b式・現高47cm)



小型鉢形土器 (大木8a式・最大器高21cm)



深鉢形土器 (大木8a式・器高34cm)



大型深鉢形土器 (大木8b式・器高56cm)



小型鉢形土器 (大木8a式・器高17cm)



鉢形土器 (大木8b式・器高34cm)

# 文化財登録制度が平成8年10月1日 施行

文化財保護法の一部を改正する法律が施行され、その改正の内容は

1. 文化財登録制度の導入。
  2. 指定都市等への権限の委任と市町村の役割の明確化。
  3. 重要文化財等の活用の促進（規制緩和）。
- となっています。

文化財登録制度の趣旨は、国民の貴重な文化財を幅広く後世に継承していくためには、文化財の保護手法の多様化を図る必要があり、国及び地方公共団体の文化財指定制度を補完する制度として、届出制と指導、助言、勧告を基本とする緩やかな保護措置を講じるもので、古き良き建造物を残してゆく新しい支援制度です。

**【登録制度】**の対象となるのは、建造物で、住宅・事務所・社寺・橋・水門・トンネル・煙突など幅広く数多くの文化財を対象としており、建築後50年を経過した建造物で、広く親しまれていたり、そこでしか見られない珍しい形をしているものなどがその資格を持っております。

米沢市では、次の3件が文化財登録の答申を受けました。

- 平成9年2月21日 国の文化財保護審議会より文部大臣に答申
  1. 米沢女子高等学校木造校舎
  1. ホテル音羽屋本館
- 平成9年3月21日 国の文化財保護審議会より文部大臣に答申
  1. 米沢市上杉記念館

全国で 236件

※平成9年3月21日現在 県内で 9件



米沢女子高等学校



ホテル 音羽屋本店



米沢市上杉記念館

## 報告書紹介

米沢市教育委員会では、埋蔵文化財及び一般文化財を年次毎に調査し、報告書を作成しておりますので紹介します。

### 【埋蔵文化財調査報告書】 欠番は在庫なし

○『桑山遺跡発掘調査報告書Ⅰ』 (水神前・柿の木・ニタ俣B各遺跡)	第6集	¥4,000
○『桑山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』 (八幡堂・ニタ俣A各遺跡)	第8集	¥4,950
○『左沢遺跡発掘調査報告書』	第11集	¥1,500
○『法将寺遺跡発掘調査報告書』	第12集	¥1,040
○『白旗遺跡発掘調査報告書』	第13集	¥ 500
○『上浅川遺跡発掘調査報告書』	第15集	¥6,000
○『石垣町遺跡発掘調査報告書』	第16集	¥ 800
○『桑山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』 (大清水遺跡)	第17集	¥3,700
○『大浦A・C遺跡発掘調査報告書』	第18集	非売品
○『三の丸・生運寺遺跡発掘調査報告書』	第19集	¥1,170
○『木和田館跡第1次発掘調査報告書』	第20集	¥ 400
○『比丘尼平遺跡発掘調査報告書』	第21集	¥ 950
○『遺跡詳細分布調査報告書』第1集	第23集	非売品
○『遺跡詳細分布調査報告書』第2集	第25集	非売品
○『覚範寺第1次・第2次発掘調査報告書』	第26集	¥1,510
○『遺跡詳細分布調査報告書』第3集	第27集	非売品
○『遺跡詳細分布調査報告書』第4集	第28集	非売品
○『遺跡詳細分布調査報告書』第5集	第32集	非売品
○『大浦C遺跡発掘調査報告書』	第33集	非売品
○『上新田A遺跡発掘調査報告書』	第34集	非売品
○『一ノ坂遺跡発掘調査概報』第2集	第35集	非売品
○『大浦B遺跡発掘調査報告書』	第36集	非売品
○『遺跡詳細分布調査報告書』第6集	第37集	非売品
○『一ノ坂遺跡発掘調査概報』第3集	第38集	非売品
○『上新田A遺跡発掘調査報告書』	第39集	非売品
○『一ノ坂遺跡発掘調査概報』第4集	第40集	非売品
○『矢子山城跡調査報告書』第1集	第41集	非売品
○『遺跡詳細分布調査報告書』第7集	第42集	非売品
○『塔ノ原遺跡発掘調査報告書』	第43集	¥1,200
○『米沢城跡発掘調査報告書』	第44集	¥1,300
○『直江石堤 谷地河原堤防測量調査報告書』	第45集	¥ 400
○『窪平遺跡第Ⅰ次・第Ⅱ次発掘調査報告書』	第46集	¥1,300
○『遺跡詳細分布調査報告書』第8集	第47集	非売品
○『一ノ坂遺跡発掘調査概報』第5集	第48集	非売品
○『矢子山城跡調査報告書』第2集	第49集	非売品
○『我妻館跡発掘調査報告書』	第50集	¥1,400
○『直江堤発掘調査報告書』第2集	第51集	¥3,000
○『遺跡詳細分布調査報告書』第9集	第52集	非売品
○『一ノ坂遺跡発掘調査報告書』	第53集	非売品
○『遺跡詳細分布調査報告書』第10集	第54集	非売品
○『台ノ上遺跡発掘調査報告書』	第55集	非売品

### 【一般文化財調査報告書】 以下在庫なし

- 『米沢の民家』
- 『米沢の仏像』
- 『米沢の神社・小祠・石造物』

## 平成9年度文化財事業

### 文化財の現状調査と基礎資料の整備

- ・「白猿」「白鳥」「文化財登録」等調査
- ・天然記念物「カモシカ」の保護
- ・新博物館準備資料調査

### 保存管理の充実

#### 【管理補助事業】

- ・「上杉治憲敬師郊迎跡」(普門院・羽黒神社)
- ・「上杉家墓所」管理補助事業
- ・米沢藩主上杉家墓所保存修理事業補助
- ・行屋資料作成事業
- ・県指定山上の大クワ樹勢回復事業

(H8.9年度)

### 全国史跡整備市町村協議会との連携

### 後継者育成の促進

- ・万世梓山獅子踊保存会への補助

### 埋蔵文化財の保護・啓発

- ・親子発掘教室の開催・展示会
- ・開発事業に伴う緊急発掘調査の実施
- ・遺跡地図の再発行

### 博物館展示事業

- ・文書のすがた
- ・第8回 昆虫展
- ・第27回 日本刀展
- ・館藏品展

### 新博物館準備事業

- ・上杉家文書資料集作成
- ・資料台帳整備
- ・館蔵資料整備・保存
- ・図書資料分類整理
- ・資料調査

発行 米沢市教育委員会

〒992 米沢市金池三丁目1-55

(担当 文化課文化財係)

TEL 0238-22-5111